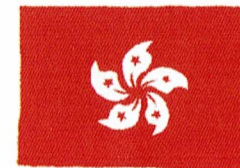


世界とつながるはじめての一步

平成30年度世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業 事業報告書
佐賀県 地域交流部 国際課



佐賀大学教育学部附属中学校のみなさん



『附属中学校が聖公会林護紀念中学校（香港）を訪問し、交流を行いました!!』

授業体験(美術)をしました!



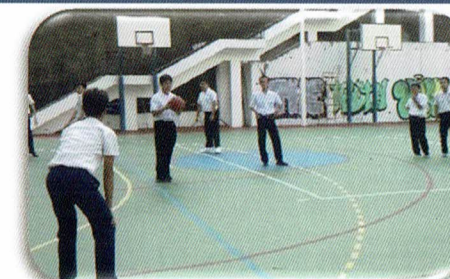
姉妹校締結式を行いました。



名刺を交換し、自己紹介をしました。



日本文化や佐賀のおすすめスポットなどについてプレゼンをしました。
フリータイムではバスケットボールやバドミントンで盛り上がりました。



《生徒の感想》

- 林護中学校では、社会の授業に参加させてもらい、日本と香港の違いについて議論をしました。英語が伝わらない場面もあり、ジェスチャーで考えを伝えました。コミュニケーションで重要なのは、「言葉」よりも「伝えようとする姿勢」だと感じました。(3年男子)
- 林護中学校との交流を通して、「伝えようとする気持ちの大切さ」を学ぶことができた。実際に英語がうまく話せなくても、コミュニケーションがとれた。知識も大切だが、実践力も大切だと感じた。この経験を学校のみならずにも伝えたいと思う。(2年女子)
- 授業見学では、実際にグループに入って授業を受けた。私が英語が分からずにいると、林護中の人は色々な方法で私に教えてくれた。そして、理解できた時に笑顔で喜んでくれた。「国は違っても心の温かさは変わらない」と思った。(1年女子)

＜交流を終えて＞

今回の香港交流では、初めて海外へ出たという生徒も多くいて、若いうちに外国の文化に触れることは、生徒にとって視野を広げるチャンスだと感じました。フリータイムでは、バスケットボールやバドミントンをしたり、浴衣を香港の生徒に着せたりと、生徒同士で親交を深めていました。また、附属中と林護中との姉妹校締結も行い、今後も長く交流が続いていくことを願っています。